

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー					
重点プロジェクト							
主管課	都市政策部 都市計画課	評価責任者				山風呂 敏	
		評価日				令和4年4月19日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、子育て支援課						
目標	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めます。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 民間の公共交通機関との連携 ○東武鉄道や民間路線バス事業者に対し「東武東上線改善対策協議会」や「ふじみ野市地域公共交通活性化協議会」などを通じて、利便性の向上、駅・踏切施設の改善、バス停留所の安全対策などの要望を行います。</p> <p>(2) 交通結節点の機能強化 ○市内公共交通の利便性をより高めるため、上福岡駅東口の駅前整備を進めます。</p> <p>(3) 市内循環ワゴンの充実 ○より便利で持続可能な市内循環ワゴンを目指し、市民のニーズを把握した上で、必要に応じ運行ルートやダイヤの見直しなどを行います。</p>						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	市内循環ワゴン乗客数					
		説明	目標値は達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、ピークであった令和元年度乗客数に達することはなかったが、令和2年度からは約9%増加した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	41,579	42,956	44,333	45,710	47,088	48,465
		実績値	86,101	92,775	66,072	72,032		
	指標2	指標名	市内循環ワゴン利用者の満足度					
		説明	令和3年度、4年度において運行コース・ダイヤの見直しに係る検討を実施し、令和5年度運用開始後にアンケート調査を実施する予定である。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値	-	-	-			
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
	指標4	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
説明								
単位								
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	0	0	28	57,589	66,709	
	人件費	0	0	1,612	18,281	18,281	
収入	特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	1,640	75,870	84,990	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	運行コース・ダイヤの見直し	学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表者等で構成されているふじみ野市地域公共交通活性化協議会においてコース・ダイヤ見直しに係る検討作業を実施した。	市内循環ワゴン及び市内公共交通の現状分析、市民アンケート調査を実施し、それらの結果などを踏まえ、安全性、利便性、コスト等を総合的に勘案しながら見直しに向けた運行計画の素案をふじみ野市地域公共交通活性化協議会において検討、協議したうえで作成した。	市内循環ワゴン運行事業
取組②	新型コロナウイルス感染症対策の実施	車内の換気・消毒、咳エチケット・マスク着用のお願いの車内掲示等徹底した感染対策を実施した。	徹底した感染対策を実施することにより、運休が一切なく運行を確実に継続させ市民の足に供することができた。	市内循環ワゴン運行事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	<p>市内循環ワゴンの運行については、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗客数がピークであった令和元年度実績までは回復させることはできなかったが、徹底した感染対策を実施することにより、利用者が安全・安心にご利用できるよう取組を実施し、運行を確実に継続し、市民の足に供することができた。</p> <p>また、市内循環ワゴンコース・ダイヤ見直しに係る検討については、令和4年度に実施する運行計画策定等に向けて重要な要素となる運行計画の素案をふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、安全性、利便性、コスト等を総合的に勘案しながら検討・協議したうえで作成することができた。</p> <p>今後も引き続き、感染症対策を徹底しながら、運行を確実に継続するとともに、コース・ダイヤの見直しについては、令和4年度は、令和3年度の実績成果を基にした運行計画の策定、コース・ダイヤの決定及び令和5年度からの運行に向けたプロポーザルによる次期運行事業者の選定支援、コース・ダイヤ改定内容に係る許認可申請等に伴う関係機関協議を行うなど、安全・安心で便利な公共交通ネットワークづくりに向けた取組を推進していく。</p>
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		交通政策推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	27 公共交通 –安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めます–			
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費			
所管部課		都市政策部 都市計画課		評価責任者	谷古宇 洋介
事務事業期間		昭和62年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、東武東上線改善対策協議会規約			
事務事業の内容	事務事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環ワゴン「ふじみん号」がより安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進め、移動制約者の生活の足の確保及び公共交通空白不便地域の解消を図ること。 ・東武東上線の輸送力の増強及び鉄道施設の整備・改善を促進すること。 			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大井町で平成14年度から循環バスの運行を開始し、平成28年度に路線とダイヤを見直し、バスをワゴンタイプへ変更する実証運行を実施し、平成29年度に本格運行を開始した。 ・昭和62年に沿線市町村で発足した東武東上線改善対策協議会を通じて、東武鉄道株式会社に対して毎年度要望活動を行っている。 			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環ワゴンのコース、ダイヤ、料金の設定などについては、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく会議体であるふじみ野市地域公共交通活性化協議会が掌握しており、市からの負担金を活用し、市内循環ワゴンの運営を行っている。なお、この協議会は、学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表等で構成されている。 ・東武東上線改善対策協議会を通じて、東武東上線の鉄道施設の改善について、毎年要望活動を行っている。なお、東武東上線改善対策協議会は、和光市、朝霞市、新座市、志木市、富士見市、三芳町、川越市、ふじみ野市で構成されている。 			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運行を開始し5年目を迎えた市内循環ワゴンのコース・ダイヤの見直し等に係る検討作業を令和3年度、4年度の2箇年で実施することとしている。令和3年度は、市内循環ワゴンの運行・運営状況、利用者の目的地となる施設の立地状況、市内公共交通ネットワークの現状等を整理・検証するとともに、アンケート調査を実施し、それらの成果を基に、安全性、利便性、コスト等を総合的に勘案しながらコース・ダイヤの見直しに向けた運行計画の素案を作成した。 ・東武鉄道改善対策協議会については、ホームドアの設置等をはじめとした要望活動に係る取組を実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	2.30	2.30
		人件費	1,612	18,281	18,281
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,612	18,281	18,281	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	10	12	
	委託料	0	5,168	11,411	
	使用料及び賃借料	23	23	25	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	5	52,388	55,254	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	1	7		
支出合計		1,640	75,870	84,990	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		1,640	75,870	84,990	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		14	663	729	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内循環ワゴンの乗客数		
	説明	より便利で持続可能な公共交通を構築するために設定する		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	48,465	48,465	48,465
	実績値	66,072	72,032	
指標 2	指標名	利用者の満足度		
	説明	市民ニーズを反映した交通ネットワークを構築するために設定する。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	99.30	99.50	99.80
	実績値	0.00	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>●市内循環ワゴンの運行 市内循環ワゴンについては、移動制約者の生活の足の確保及び公共交通空白不便地域の解消の2点を目的として、平成28年度の実証運行を経て、平成29年度から本格運行を開始している。乗客数は、毎年着実に増え続け、令和2年度はコロナ禍により減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度においては、約9万2千人にまで増加し、市民の足として確実に定着してきている。令和2年度以降については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、車内の換気・消毒の実施、咳エチケットや、マスク着用のお願いの車内掲示等徹底した感染対策をおこないながら、運休も一切なく運行を確実に継続し、市民の足に供してきた。</p> <p>●市内循環ワゴンコース・ダイヤ見直しに係る検討 令和3年度、4年度において運行コース・ダイヤの見直しに係る検討を実施し、令和5年度にコース・ダイヤ見直し後のアンケート調査を実施する予定となっている。 令和3年度は、市内循環ワゴン及び市内公共交通の現状分析、市民アンケート調査の結果などを踏まえ、安全性、利便性、コスト等を総合的に勘案しながらコース・ダイヤの見直しに向けた運行計画の素案を学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表者等で構成されているふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、検討・協議したうえで作成した。</p> <p>●東武東上線改善対策協議会における要望活動 首長による要望活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面式による書面での要望となった。今後も引き続き、東武東上線の輸送力増強及び鉄道施設の整備、改善を促進することを目的とし、各市町と連携を行いながら粘り強く要望活動を実施していく。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	●市内循環ワゴンの運行については、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、運行を継続させる。またコース・ダイヤの見直しについては、令和4年度は、令和3年度の実績成果を基にした運行計画の策定、コース・ダイヤの決定及び令和5年度からの運行に向けたプロポーザルによる次期運行事業者の選定支援、コース・ダイヤ改定内容に係る許認可申請等に伴う関係機関協議を行っていく。
中長期的方向性	●東武東上線への要望活動に関する取組については、輸送力の増強及び鉄道施設の整備、改善を促進することを目的として粘り強く要望を続けていく。
継続	